

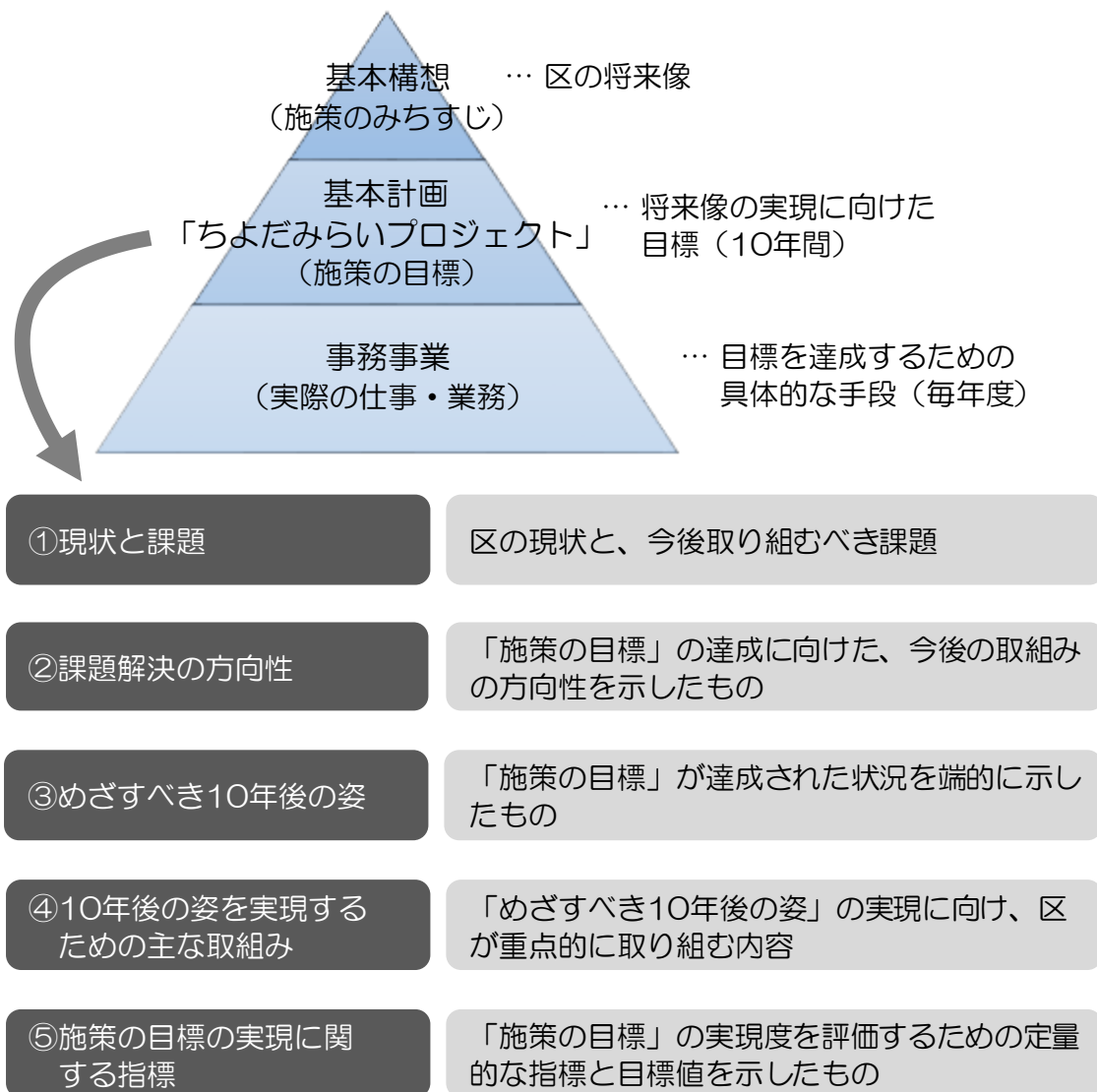
第 I 章

千代田区における基本 計画及び行政評価制度 の概要

1 ちよだみらいプロジェクトについて

平成27年3月に策定した「ちよだみらいプロジェクトー千代田区第3次基本計画2015ー」（以下「ちよだみらいプロジェクト」という。）は、区の将来像を描き、それを実現するための施策のみちすじを示した行政運営の指針である「千代田区第3次基本構想～千代田区新世紀構想～」の実現に向け、区政の課題を明らかにし、その解決の方向性を示す総合的な計画である。この計画では、今後10年間に区が取り組むべき施策について、現状と課題や課題解決の方向性を取りまとめ、将来像としてめざすべき10年後の姿と、それを実現するための主な取組みを明らかにした。また、目標管理型の計画とし、「施策の目標」（以下「施策」という。）ごとに目標にどの程度近づいたかを把握する目安として指標を設定している。

図表 1 千代田区の計画体系及び計画の構成



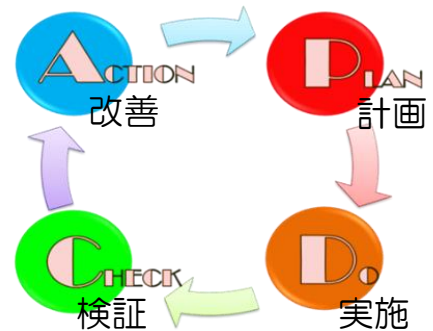
2 行政評価制度について

行政評価制度とは、行政の活動を一定の目的、基準、視点に沿って客観的に評価・検証し、その結果を行政活動の改善に結び付ける仕組みである。

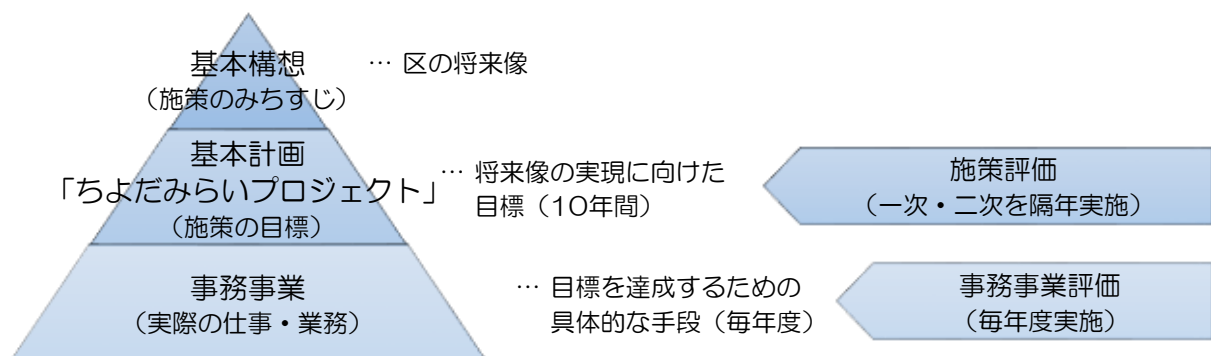
平成27年度、ちよだみらいプロジェクトの策定にあわせ、進捗状況や課題、成果等について、区民への説明責任を果たせるよう、行政評価制度の再構築を行った。評価の種類として事務事業評価と施策評価を定め、短期的な評価（事務事業評価）と中長期的な評価（施策評価）を並行して実施することとした。

事務事業評価については、各年度の予算・決算と連動させることができるよう「主要施策の成果」において、主な事務事業の事務実績や予算執行率等から事業所管部・課が課題の分析（評価）を行い、次年度予算への対応を明示し、その内容を基に予算の編成を行うこととしている。

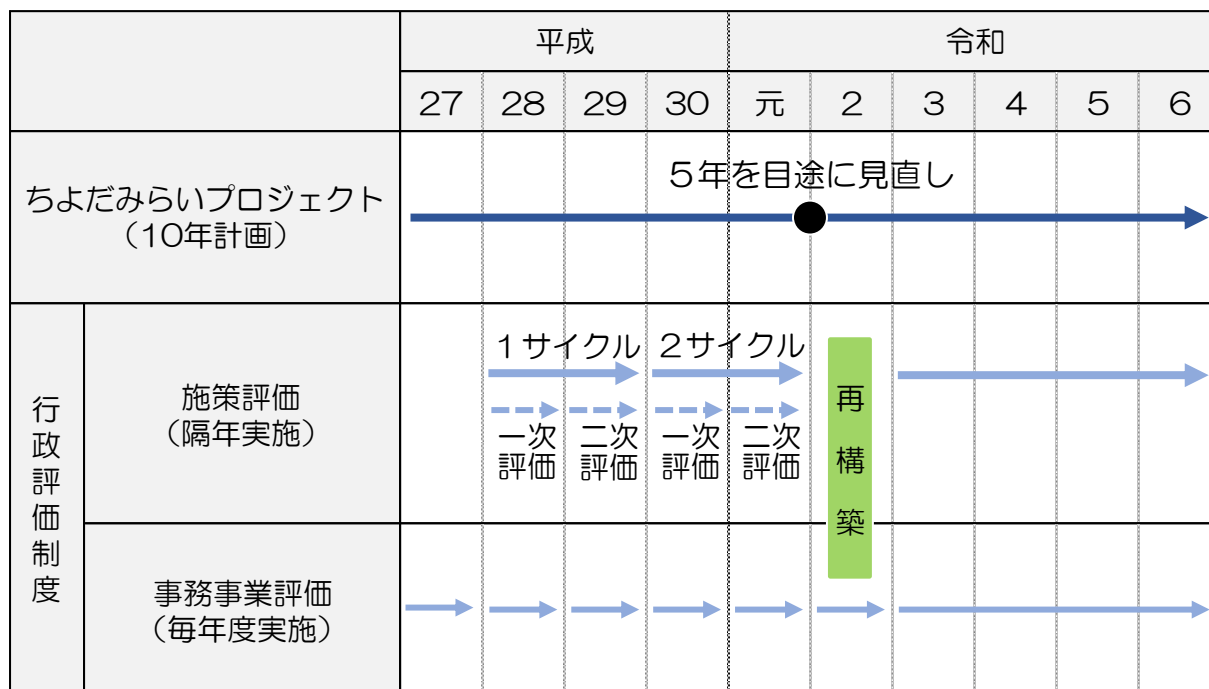
施策評価については、事務事業評価の結果も踏まえながら、ちよだみらいプロジェクトで掲げる37の施策が、めざすべき10年後の姿に向けてどの程度進んでいるかを、2カ年を1サイクルとして、区の自己評価である一次評価を1年目に、第三者の視点を加えた二次評価を2年目に実施する仕組みとし、ちよだみらいプロジェクトの中間年までに2サイクルの施策評価を実施することとした。



図表 2 千代田区の計画体系と評価制度



図表 3 各評価制度のスケジュール



図表 4 施策評価のスケジュール

年度	実施概要	
平成28年度	○ 進捗状況の把握を中心とした一次評価を実施 【区民アンケート調査実施】	1 サイクル
平成29年度	○ 平成28年度に実施した一次評価を踏まえ、学識経験者を含めた行政評価委員会を設置し、二次評価を実施	
平成30年度	○ 進捗状況の把握を中心としつつ、ちよだみらいプロジェクトの中間年における見直しに係る振り返りの視点も含めた一次評価を実施 【区民アンケート調査及び人口推計実施】	2 サイクル
令和元年度	○ 平成30年度に実施した一次評価を踏まえ、学識経験者で構成された行政評価委員会を設置し、二次評価を実施 ⇒ 二次評価の意見等を踏まえ一次評価を更新	

3 ちよだみらいプロジェクトの中間年における見直し

ちよだみらいプロジェクトは、中長期的な視点からの施策展開を図るため10年計画としている。一方で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会による影響やその他社会経済情勢の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、5年を目途に見直すこととしており、令和元年度が5年目にあたる。

そのため、庁内で総合的に検討する体制として、「千代田区基本計画見直し等に関する庁内検討会」（以下、「庁内検討会」という。）を平成30年度から設置し、ちよだみらいプロジェクトの中間年における見直し（以下、「ちよだみらいプロジェクトの見直し」という。）を実施した。

まず、千代田区第3次基本構想で掲げる将来像や基本方針、施策のみちすじは現在も有効であること及び将来人口推計も含め、ちよだみらいプロジェクトの骨格（施策体系や計画期間等）に影響のある大きな社会情勢の変化等はないことを踏まえ、庁内検討会において、ちよだみらいプロジェクトの抜本的な変更（改定）はしない方向性を確認した。その上で、次のステップとして、施策ごとに進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、ちよだみらいプロジェクトで示している課題認識や取組みの方向性等を変更する必要があるかを、平成30年度・令和元年度実施の施策評価により検証した。（庁内検討会の設置要綱、メンバー及び開催実績については、P251～255参照）

図表 5 ちよだみらいプロジェクトの見直しの流れ

ちよだみらいプロジェクトの見直し	
STEP 1 抜本的な変更（改定）の必要性を検証（施策体系、期間等）	
STEP 2 各施策について振り返り、変更の必要性を検証	施 策 評 価
① 進捗状況の把握、社会情勢の変化等の分析	
② 課題の洗い出し	
③ 今後の方向性の検討	
STEP 3 ちよだみらいプロジェクトの修正箇所の確認	